如例年従御一門方為七夕之御祝儀鮭代被差上	六日暗		東叡山所々御番					人被 仰付之	高巖院様御三回忌"付於上野来月御法事在之"付彼地役	五日暗		於評定所式日寄合有之大久保加賀守	四日晴		右卒去		二日 晴風 無事		右両人御暇 "付被下之		寺段共同斤	一日晴		御暇銀五枚 白井右京	<b>從南部大膳大夫初鮭進献之</b>	余焼失	松平出羽守城下去月十五日火事	去也	如例月之諸大名出仕有之御忌中"付御	朔日暗		七月	延寳六 戊 年	柳営日次記	四立国会図書館デジタルコレクション 年録
儀鮭代被差上			安藤對馬守	杉浦内蔵允	板倉市正	<b>                                       </b>	板倉石見守	专业餐厅	7御法事在之"付彼地役			賀守				半井通仙院				一河合介左衛門	<ul><li>別が値化官</li><li>一松平清三郎</li></ul>	至う 車分で					出来侍屋敷町屋等弐百軒		"付御礼無之各謁老中退						七十四(延宝六)
											_							-														欠	_	-	
松平豊後守	上杉弾正大弼	松平越前守	松平安藝守	佐竹右京大夫	松平播磨守	松平伯耆守	松平三河守	松平陸奥守	松平摂津守	松平左京大夫	大廣間 渡御	松平近江守	松平左兵衛督	井伊玄蕃頭	水戸少将殿	紀伊中将殿	水戸宰相殿	右對顏御白書院 渡御御礼之次第	甲府中将殿	舘林宰相殿	已刻御黒書院 出御 御刀 内藤上野介	七日暗		小普請奉行花井次左衛門神谷長五郎東叡山御法事中可相詰旨被 仰付之	盂羅盆 付日光へ秋山源左衛門可被遣旨	御者両種 水野金兵衛	是實門生計 桑山美作守	織田信濃守	司所从之番	☆みの単常 片桐主膳正	小出信濃守	第77章 資產	東福門院御法事。付於京都役人被一仰付衆	秋山源右衛門事日光 盆御名代可被遣旨被仰付	
之通隠居被	十日晴		銀+枚 上柳彦十郎	御暇金壱枚 茶屋四郎次郎	右日光 御暇被下之			九日暗		水宰相ゟ領分之初鮭被献之	右御暇	時服弐被下之	八日晴		右之面々或、病氣又は差合。付登												四五人",出座 御目見去	右壱人宛 御目見畢 榊田							
仰付家督惣領被下候面々			₽I?	次郎		秋山源左衛門	御座之間			之		水野金兵衛	NOT 107 TAK NOT CO.		合 付登 城無之	松平若狭守	松平大蔵大輔	立花飛騨守	松平下総守	松平土佐守	織田山城守	丹羽左京大夫	松平刑部大輔	保科筑前守	尾張中将殿	紀伊中納言殿	御目見其外如例式諸御礼在之	御目見畢『榊原式部大輔を始諸大名弐人三人	松平隠岐守	酒井左衛門尉	松平肥前守	森 伯耆守	織田伊豆守	毛利甲斐守	

```
宇治帰 御目見
                                                             二條御暇
                                                                                                                                                                                                                                   巳刻御黒書院
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          高木藤兵衛養子" 櫻井庄之助二男庄十郎願之通被
            京都帰
                                                                                                                                           御役儀御加増御礼
                                                                                                                                                                     次"水口在番帰御礼
                                                                                                                                                                                                                                                 十一日 曇タより甚雨
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              則藤兵衛御暇被下之
                                                                                        長崎御暇
                                                                                                                  右之御礼
                                                                                                                                                                                                                                                                           右職人共御暇
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              右駿府御目付代被
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       右大坂御目付代被
                                                                                                                            時服十
                                                                                                                                 黄金廿枚
                                                                                                                                                                                                              時服四
                                                羽織時ふく弐
                                                      黄金弐枚
                                                                         時服弐羽折
                                                                                黄金拾枚
                                                                                                                                                      銀馬代
                                                                                                                                                                                金馬代
                                                                                                                                                                                     蝋燭五箱
                                                                                                                                                                                            金馬代
                                                                                                                                                                                                  綿百把
                                                                                                                                                                                                         銀馬代
                                                                                                                                                                                                                     金馬代
                                                                                                                                                                                                                                                                                     時服弐
                                                                                                                                                                                                                                                                                           黄金壱枚
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     高千石
                                                                                                                                                                                                                                                                                                        時服 弐 ツツ
東福門院御不豫中在京
                                                                                                                                                             雨鞍覆三
                                                                                                                                                                                                                           猩々緋十間
            御目見
                                                                                                                            御加增弐万石
                                                                                                                                                                                                                                     出御参勤之御礼
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              仰付之
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       仰付之
                                                                                                      御目見
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   松田孫太郎
松田孫太郎
                                                                                                     太田道顕太田道顕
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               清雲男
                                                 坪内藤七
                                                                                                                                                                                                                                                                                                    松田権兵衛
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 木屋理兵衛
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                駒井次郎左衛門
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       田沢道徹
井上玄徹
                        松平内蔵介
                                                                            岡野孫九郎
                                                                                                                              太田摂津守
                                                                                                                                                        伊東信濃守
                                                                                                                                                                                 溝口信濃守
                                                                                                                                                                                              小笠原内匠頭
                                                                                                                                                                                                           織田内記
                                                                                                                                                                                                                        松平薩摩守
                                                                                                                                                                                                                                                                                       田村彦右衛門
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          蒔田八郎左衛門
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    猪子左大夫
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          仰
付
                                                                                                                                                                                                                                                                                                   従甲府殿舘林殿生見魂御祝儀御樽肴黄金弐枚ッッ
                                                                                                                                                                                                                                     御旗本之面々跡目被
                                                                                                                                                                                                                                                             同断舘林殿。上使松平内匠頭紀伊殿へ上使池田帯刀水戸
                                                                                                                                                                                                                                                                          以上使御鷹之雲雀五十ッッ被遣之上使米津周防守甲府殿。
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                於評定所式日寄合在之土屋但馬守出座也
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                初
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      従大坂御金宰領参則御暇
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              十二月
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          時服弐 ツツ
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       御鷹之雲雀五十千代姫君へ被遣之
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 御目見
                                                                      池田帯刀組
                                                                                                                                                                                        大久保山城守組十右衛門7無足朽木和泉守組 紅林
大久保右京亮組
                                                                                                                                                                                   松平内匠頭組
                               武田与左衛門組六郎右衛門子大久保豊前守組 神谷病
                                                                                                                                                                                                                               下田
仰付之
      戸田備後守組孫兵衛子
                  御具足奉行勘三郎子
                                     (R 量前守組 神谷源兵衛
松平与右衛門組八右衛門子
加藤平三郎
                                                                                   同人組
                                                                                               戸田備後守組弥次右衛門養子 神 長蔵
                                                                                                                                                                                            村木和泉守組 紅林介大夫永井佐渡守組頭甚左衛門子
                                                         松平与右衛門組平兵衛子
                                                                                                                                                   朽木和泉守組八太夫子
                                                                                                                                                                     同組無足
                                                                                                                                                                                                                  御小納戸
                                                                                                           大久保右京亮組左兵衛養子
                                                                                                                         松平内匠頭組清兵衛子
                                                                                                                                      米津周防守組斧兵衛子
                                                                                                                                                               大久保豊前守組佐七1
                                                                                                                                                                            内藤上野介組弥左衛門子
                                                                                                                                                                                                                  孫兵衛子
                                                                    小笠原伊兵衛+弐
                                                                                                                                                                                                                               傳三郎子
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            戸田源兵衛
難波田権六
難波田権六
                                                                                                                 牧野三之助
                                                                                                                                          石野三次郎
                                                                                                                                                                                                                       今村彦兵衛
                        筧 源兵衛
                                                                                        三宅岩三郎
                                                                                                                              大草長四郎
                                                                                                                                                      内藤七次郎
                                                                                                                                                                                 西山六郎兵衛四
            神田万之助
                                                               木造金弥
                                                                                                                                                                     朽木弥三郎
                                                                                                                                                                                                           大久保孫介
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    岡野孫之丞
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    平賀玄順
江原与次右衛門 +八
                                                                                                                                                                                                                                                                                                    被差上
                                                   +
                                                                                         +
                                                                                                                   九
                                                                ±
=
```

高五千石

山本友仙

三十五番平左衛門が 三十四番左兵衛迄菊之間 電土見番杉原又兵衛組 岡本市之丞 御膳所御臺所組頭黒川伊左衛門養子 御膳所御臺所組頭黒川伊左衛門養子 (本理院様衆清左衛門子御留守居支配) 力 奥進物取次上番 武田越前守組 元女院様衆 板倉伊豫守組 田中大隅守組 片岡權兵衛組与右衛門子 浅野又八郎 加藤伊織組孫助養子根本子左衛門三十五 ·兵衛組 戸田備後守組十左衛門子 冨田仁右衛門 廿八 戸田備後守組半左衞門養子 別所弥十郎 戸田備後守組半右衛門子 清水權之助組御手鷹師又兵衛弟養子 田 丸左兵衛 田中作兵衞祖次郎兵衛子 松平七郎左衛門 廿九 板倉市正組新右衛門弟養子 板倉市正組兵左衛門子 武田越前守組覇平甥養子 福王彦五郎 廿二 表火之番八郎左衛門養子 河野三左衛門 組惣左衛門子松平所左衛門 堀田對馬守組弥右衛門不 御膳所御臺所組頭黑川伊左衛門養子 内田久太郎 御天守番岩間八郎左衛門組甚五郎子 奥御臺所人 藤左衛門 御目付支配御徒押清大夫 御代官 戸田備後守組平左衛門子 大久保右京亮組惣兵衛養工 永井佐渡守組吉平子 戸田備後守組源左衛門子 千人頭勘左衛門子 御鳥見頭角介孫養子 甚之丞子 加藤傳兵衛 手嶋三右衛門三十八 志村兵吉郎 三十七 水野万右衛門三十六 大平喜兵衛 坪井午之助 有田甚之丞 榊原源五左衛門 +カ 杉浦太郎助 河原半次郎 村山武大夫 神谷千之助 石川甚次郎 三十 渡邊十三郎 #五 門奈惣右衛門世四 成瀬小三郎 二十 福村藤三郎 水野惣十郎 本多藤右衛門#二 世七 <u>≓</u> 三十四 三 十 三 四十三 四十七 四十四四 三十九 = + -#= 四十 四十五 四十弐 四十 四十二

脚踢 之間

以上使御鷹雲雀五十ッッ被遣之

尾張中将殿 甲府中将殿

上使酒井壱岐守

十三日 晴夜 入小雨

增上寺御名代土屋但馬守参詣 御暇 以上使御鷹之雲雀三十ッッ被遣之 御服有之"付紅葉山御名代無之 右為盆料被下之 上野御名代大久保加賀守被遣則盆料被遣之 十五日晴 明日如例年諸大名出仕無之 今昼本多土佐守藤原忠隆死故下総守男 酒井雅楽頭幼少之娘昨夜死去也 十九日 雨午刻 6止 十八日 晴時々雨 十六日 晴 無事 十七日 風雨 十四日 晴 無事 羽織被下之 稲葉美濃守道中迄御尋奉書 銀弐枚時服二宛 時服三 時服 弐ッツ 時服拾 白銀弐百枚 上使物件次即左衛門上使物件工作的上使不是工作 松平陸奥守松平陸奥守松平陸奥守 同 同 同 石川市正 紀伊中将殿 稲葉出羽守 寒 東 役者 圓 冏 増上寺方丈程雄 常 観 凌 榊原越中守 水戸少将殿 松 徳 理 院 院 院 院 院 豫参 大和守但馬守加賀守 水宰相尾中将陪拝 知楽院拝迎 以上使御鷹之雲雀三十ッッ被下面々 於評定所式日寄合大久保加賀守出座 秋山源左衛門日光帰於御座之間御目見 廿日晴 酒井雅楽頭忌御免登 尾張中将殿登 城御病中上使被遣御礼 右京都帰於御座之間御目見 廿二日 辰刻紅葉山 右京都ゟ今昼前着之由 世 一 日 久世大和守 右之面々為御礼登 城也 禁裹へ八朔之御使植村土佐守被仰付 "付達之 金馬代進上之 曇 御参詣也 城也 御沓 松平摂津守 御供 御刀 高木忠右衛門 松平安藝守 松平安藝守 松平刑部大輔 石尾七兵衛松平播磨守 内藤若狭守 石川美作守 神尾飛騨守 朽木和泉守 稲葉美濃守 稲葉美濃守 御留守居衆 松平因幡守 堀田備中守 土井能登守 上杉弾正大弼 松平越前守 松平刑部大輔幼少娘死去也 於御前老中不残保多縮緬拝領之 以上使御鷹之雲雀弐十ッツ被下之 廿三日晴 大沢兵部大輔少将基将於湯沢卒去故右京大夫基量男也 昨日飛鳥井一位殿孫娘松平越前守へ婚姻在之 御帷子三 **弐** ッッ 雅楽頭 但馬守 大和守 美濃守

同 高木忠右衛門 西井左兵衛尉上使設築市左衛門

松平隠岐守

同 溝口孫左衛門 同同人

南部大膳大夫 水野美作守

同 櫻井庄之助

同人留婚左兵衛門同 稲業清左衛門同 稲業清左衛門

同 日下部権太夫 松平伯耆守

同

松平下総守松平薩摩守

同 三好備前守 一森 伯耆守

御使女中

紀伊殿簾中

尾張中将殿簾中

松平肥前守

同日下部権太夫同石尾七兵衛 同 稲葉清左衛門 毛利甲斐守

| 内藤左京亮 | 日本多出雲守

同 日下部權太夫 内記 高木忠左衛門

\ 松平紀伊守 根井庄之助 內室 松平新太郎

一 土井能登守姪之差合是山口修理亮妻死去右為御礼登 城也福垣信濃守	次"入院御礼 产田采女正 時服二十 松平伊豫守 銀馬代 松平伊豫守	海前 老中 不残霊 雀科 二十ッチ 濃守大和守母ニ十ッチ 濃守大和守母
以上使御鷹之雲雀被下之	在今度安宅丸御舩修復依被 仰付之御用之儀雕申渡三左衞門不致承引段訴之仍不届被思召遠嶋被 仰付旨 世八日 晴 世八日 晴 一	於御前老中不残雲雀拝領之 於御前老中不残雲雀拝領之 於御前老中不残雲雀拝領之 於御前老中不残雲雀拝領之 於御前老中不残雲雀拝領之 「國東左屬門左屬門左屬門左屬門左屬門左屬門左屬門左屬門左屬門左屬門左屬門左屬門左屬門左
大岡弥右衛門弟喜右衛門可被召出旨老中傳之是女院御所御願"付"也右御暇	神舟向井将監支配之椎木三年 手 日本祖稲葉出羽守組本	初讀被遣之
# M M M M M M M M M M M M M M M M M M M	一 未中刻西丸 演御 右於御前雲雀拝領之 堀田備中守	右初『被遣婦上使御鷹之雲雀二十ッッ被下之』
廿九日 暗	土井能登守太田摂津守	十六日 (K暗午刻地震   戸日 起 青 T)・被下之
将監と出入在之。付面也 郷暇時4く三羽折 石川又四郎 ※上 第哲 智哲 春智 ※上 7 石川又四郎	右之面々御鷹之雲雀二十ッッ拝領之本多長門守士圭之間は焼火之間で被下之本多長門守秋元摂津守	(明性子単物) (1) 日本山東江初鮭御進献之東江初鮭御進献之   東田伊賀守   戸田伊賀守   戸田伊賀守   東田伊賀守   東田伊賀守   東田伊賀守   東江初鮭御病後始 登 城於御座之間御目見也   10   11   12   12   13   13   13   13   13
一 惟木庄右衛門昨日伊豆大嶋;江	松平備前守増山兵部少輔内藤和泉守	廿五日 畸 衛留守居衆
於殿中御鷹之雲雀二十 ッッ被下之	野山	
銀馬代 - 有二種道上之 - 有二種道上之	板倉隠岐守水野右衛門大夫	藤平
一 松平加賀守帰国之為御礼使者 一 松平加賀守帰国之為御礼使者 縣馬代 初『参府』付 明見	安藤對馬守松平伊豆守阿部美作守阿部對馬守	像参 美濃守大和守但馬守加賀守 一生井能登守 と中将陪拝 方丈拝迎 渡邊安藝守 大和守但馬守加賀守 大井能登守 一次邊安藝守 一次
— — 東本 東 本	廿七日暗	辰后刻紅葉山御参詣也 神四日 暗
同 — — 断 卷 束	一 明廿七日西丸『被為 成之旨仰出之右御暇	加賀守

禁裏へ初菱喰 法皇へ初鮭御進献之

太田式部知行五千石依為遠州濱松領同国之內『而被替下之旨

柳営日次記 延宝六 戊午 年 八月 織田伊豆守 毛利甲斐守 松平大蔵大輔 織田内記

甲府中将殿 甲府宰相殿 辰中刻御黒書院 朔日曇小雨

出御 御刀米津周防守

舘林宰相殿

水戸宰相殿

右以太刀目録 御對顔

松平左兵衛督 井伊玄蕃頭

紀伊中将殿 尾張中将殿

紀伊殿家来 成瀬豊前守 尾張殿名代 松平近江守

水野對馬守

御白書院 諸物頭諸役人太刀目録前"置一同御礼 右以太刀目録順々御目見在之 出御廊下酒井雅楽頭を始老中,御詰衆諸番頭

松平左京太夫

大廣間 渡御

松平摂津守

松平陸奥守

松平伯耆守 松平三河守

松平播磨守

織田山城守

佐竹右京太夫 松平薩摩守

松平安藝守

上杉弾正大弼 松平越前守

松平豊後守

前"置一同御礼

在國在所或は幼少煩之面々名代以使者太刀目録納之老中

右両人二元披露之所謂

松平越後守

松平加賀守

松平大膳大夫

松平伊豫守

保科筑前守

伊達遠江守

宗 對馬守

松平土佐守

松平中務大輔

松平飛騨守

森 伯耆守

酒井左衛門尉

松井隠岐守

右以太刀目録壱人宛御目見終『松平遠江守を始諸大名四 人宛太刀目録持参御目見畢而寄合衆三千石以上太刀目録

列座也南之方秋元摂津守北之方松平備前守

松平大隅守

松平相模守

松平出雲守

細川越中守

松平右衛門佐

松平丹後守

松平讚岐守

丹羽左京太夫

藤堂和泉守

松平出羽守 松平大和守

松平肥前守

一日 晴夕小雨

右京都帰於御座之間御目見

御法事"付今朝上野"参詣也

高巌院様三回御忌於東叡山今寅刻後夜勤行辰上刻凌雲院出座千部讀

坪内藤七郎先日御暇"付近日京都發足依之奉書渡之

三 日 朝間小雨

御誕生日"付高家衆詰衆奏者番諸物頭諸役人其外殿中伺公 之面々御餅御酒被下之

今朝上野酒雜葉美濃守

土井能登守忌御免登 城也

與高嚴院樣御三回忌之御法事"付朽木和泉守相詰

困為御法事中式日之寄合延引也 (関かも) 四日 小雨

五日 雨不止

高巖院殿御法事恭結願"付上野御名代大久保加賀守参

詣則御香典被遣之

白銀五百枚 但御在京

日光御門跡

雲 楽

院

同断 白銀弐拾枚

銀拾枚ッッ

護 実 玉 乗 院 院

観 知

理

院院

松平信濃守 立花飛騨守

有馬中務大輔

小笠原遠江守

右之外松平和泉守始諸大名都合百三拾弐人順々納也 青山因幡守

畠山下総守

久世大和守

大久保加賀守

一	前田安藝守京都町奉行郡代役	時服三羽折 黄金五枚 五拝領物無之	土方備中守織田山城守	時 時服 服三 四	松平右京亮正	
後年 中 中	;		1	ł		
1 日本	堀		内	時服五	亚	
	西		松平越前	時服拾	田山	
(機 中	加		済御	刻御黒書院 出		仰
(後 中 中	土			日		
操 中 中         操 中	増					
	安		Ж		7日被献之	将殿八朔之献上
	阿		大岡五郎右衛門娘		卒	奉行山寺弥太夫頃日
(		次"半年代御暇	松波梶平江		岬目見	京都帰於御座之間
1	伊	[7]	遠山半左衛門娘		口源	
	内		石尾織部江			日
W 中	那	田	山伊兵衛			
	Ξ	[F]	北郎		的鮭御進献也	皇垣初菱喰
	冏	Till 1	野孫九郎		治左衛門御	付
	洒	箱肴	竹中久五郎		勢日	欠
		次"半年代参勤御礼	河部 四		付於御座	法事中相詰
W	作 三 島 子	金弐枚	川大膳		杉浦内蔵允	
	# 5 5 5 5 7 7	金三枚	井上太郎左衛門娘		ずるで、「おおおいます」では、「おおまます」では、「おおまます」では、「おおままます」では、「おおままます」では、「おおままます」では、「おおまままます」では、「おおままままままままます」では、「おおままままままままままままままままままままままままままままままままままま	
(	Ę Ż	次家督之御礼	水野肥前守江		神経 计 松平山城守	
(	<b>.</b>		松平久米介養娘		"板倉石見守	
	Sant.	銀馬代	竹中主殿江		安藤對	
日田寺下河北       大坂在番帰御目見         日田寺下河北       大坂在番帰御日	+=	銀馬代根矢百筋	池		之	御暇被下
日 田田平下列出       一棚権之丞娘       人工人知本       時限四         自 日三千貫       譲経僧衆       水井伊賀守工       ・		大坂在番帰御目見	土屋備前守江		亚.	欠
1	油	銀馬代切付五口	柳権之永			目 雨申下
特	层	銀馬代嗣乱五拾	水野縫殿江			
事業日本         事業日本         事業日本         事業日本         事業日本         事業日本         事業日本         事業日本         事業日本         本書         事業日本         主事日本         本書         事業日本         主事日本         本書         主事日本         主事日本         本書         主事日本         主書         主書         主書         主書         主書         主書         主書			松平佐渡守娘			今日御香奠献上末 記之
**	内	羽斯五			歳是阿波守綱信之男也	去。晦日也行年弐十二章
九人出籠御赦免也       ※ 人拾人         上野 E代       水井伊賀守立         町村権右衛門       森 對馬守立         本 對馬守立       母恩代         金馬代       会馬代         海首担       会馬代         海市社       会馬代         海田村権右衛門       本馬代         本馬中       会馬代         会馬代       会馬代         会馬代       会馬代         会馬代       会馬代         会馬代       会馬代	稲	羽畸服五	信		侍従阿波守源綱通	一 阿部淡州国主従四位下
田村権右衛門			H		(日次記は松平河坡守) 間御赦免也	九人出
<ul> <li>一野目代 右衛門</li> <li>一野目代 右衛門</li> <li>京 楽人拾人</li> <li>永井信濃守娘</li> <li>永井伊賀守ェ</li> <li>時服四</li> <li>松平九十郎妹</li> <li>時限四</li> </ul>	#	銀馬代	村			右之通被下之
<ul> <li>※ 楽人拾人</li> <li>が 一変人拾人</li> <li>が 上野中代</li> <li>が 一変動之御礼</li> <li>校平九十郎妹</li> <li>時服四</li> <li>時服四</li> </ul>	#	金 馬代 五			田台	銀十枚
<b>目三千貫</b>		次"参勤之御礼	永井信濃守娘		上	銀三枚ッッ
五百枚 僧 中 松平九十郎妹 時服四	右	時服四	永井伊賀守江		讀経僧衆	鳥目三千貫
	眩	時服四	松平九十郎妹			銀五百枚

	京都江御暇
岡部三右	
4 衛門	

右御暇

松平兵部大輔國元ゟ以使者一荷弐種進上之是同姓越前守 右小十人組工御番入被 松平兵部大輔参府"付為上使酒井日向守被遣之 縁組被 次 右初。御目見 十 日 晴小雨即刻止 祝言相済為御礼也 右従勢州参府御礼 右従佐州参府御礼 右駿府御目付暇 右大坂御目付御暇 右拝領物無之 御暇 時服五 時服三 時服弐 黄金弐枚 右女院御所御願"付"也 大御番伜三人 黄金五枚ツツ 七夕御祝儀相済"付 銀三百枚被下之 松平佐渡守於国許去月晦日卒去因茲當地屋敷へ 上使板倉石見守 仰付 仰付之 武田越前守組新八子 川崎源五郎 野呂瀬彦右衛門 三枝摂津守組七郎左衛門子 水野周防守組藤左衛門子 三宅左近養子 曽根五郎兵衛 世根五郎兵衛 奈良 野呂瀬彦右衛門足張殿使者 弥右衛門弟 山田奉行 桑山丹後守 善 松風猪之介 畠山下総守娘 兀 戸田久米之助 猪子左太夫 大橋五左衛門工 大岡喜右衛門 蒔田八郎左衛門 駒井次郎左衛門 坊 寺 巳后刻西丸江 半岐十左衛門 ・ 神先手順本多左太夫隊 ・ 大御座之間御加増之地御書出頂戴之 渡邊久助今日日光帰登 城御目見 於評定所式日寄合久世大和守出座也 明十二日西丸 被為 成御供觸四 時也 上野御法事中相勤候"付為御褒美被下之 水戸殿登 城昨日以上使少将殿"縁組菊亭大納言殿息女 十三日 曇夕雨 本院『初菱喰 新院』初鮭御進献之 十一日 右下田御番所奉行被 右御鉄炮頭於御座之間被 西丸 言安藤壱岐守組岡部隠岐守組乗馬 時服弐羽折 仰出御礼也 渡御 仰付 仰付之 豆州下田奉行父傳三郎跡役 谷田又兵衛山田七兵衛 畳奉行 金丸平左衛門 野村彦太夫 神谷長五郎 花井次左衛門 上覧 太田摂津守

水戸殿沿為上使大久保加賀守被遣之御用不知 右菊亭大納言息女水戸少将殿へ縁組之儀宰相殿願之通被 仰出 堀田備中守 石川美作守 松平因幡守 土井能登守

願之通隠居被 仰付之家督無相違伊豫守 被下之 右三人共御代官御免則子共御役儀被 仰付之 願之通御役御免也 御暇時ふく三 寺尾内匠 御先手頭岡部覚左衛門 竹村与兵衛子 設楽源右衛門子 秋鹿内匠子 渡邊吉左衛門

見舞也

右為御礼中将殿御登 城

仰付之 秋山六左衛門門奈介右衛門事奧州海馬買可被遣之旨被

十五日 晴

如例月之諸大名出仕御礼在之 次一参勤御礼

松平兵部大輔

池田信濃守

銀 時 金 時 服 服 代 四 代 拾

次一御暇 時服四

羽折

松平筑後守

井上出雲守

土岐山城守

十六日 快晴

高木忠右衛門

紅葉山御名代御服有之一付無之

十七日 晴西下刻大地震

右目光御目付代被 仰付之 成刻甚地震"付老中其外御側登 城

十八日 晴丑刻地震

紀伊殿『為上使酒井壱岐守を以御菓子被遣之是病氣為御

時服弐被下之

廿二日 № 夕晴 由乍去両勿	囲塀百拾胴	右家督被仰付之 欠 一 九州筋去五	高五万石 松平若狭守 銀 <sup>+</sup>   枚	唐津引渡帰登 城 時服三	細井金玉郎	次 新庄与三右衛門	木玄濟京都帰登 城也 一 御普請出t	半井驢庵 於京都近年度		本多雁前守祖甚次郎龚子 本多雁前守祖甚次郎龚子 本多雁前守祖甚次郎龚子	『失凶頃在なより 木下 縫殿助	目被 仰付面々 薪命 内丘男	1.平但馬守跡式五万石無相違息若狭守被下之	日 曇 本多備前守組	已刻西丸,	久保加賀守風氣登 城無之 廿六日 tt	例年之御樽肴雖被遣之今度有故『不被遣之上使も跡、高家之処右之通也	光御門跡就御到着為上使久世大和守被遣之 一 明日西丸 "被為	稻葉美濃守 右於同席#	野御名代	日 時 為名代同也 為五万石	於御座之間	<sub>時服弐</sub> 國府田覚右衛門 廿五日	尾見六兵衛	野沢五郎介 注進之	清水彦右衛門間余破損	拾五内五	中国御蔵入之検地水谷左京亮家来共相勤候"付被下之 🌣 一 去月十八日.	·裏 <sup>□</sup> 初鶴 新院御所 <sup>□</sup> 初菱喰御進献之 増上寺御名代	九日 雨		大坂在番帰板倉伊豫守酒井下総守組大御番御改在之 廿三日 睛匆	《假旨被》 仰传之
御番所町奉行屋鋪御蔵等別条無之同日同時福岡	間余吹倒其外長崎町人之人家不残少々宛破損之	五日未刻より寅刻まて大風雨唐人差置候出島外	清水弥左衛門	御飯館大工 鈴木長兵衛	木原内匠	鈴木修理	来"付為御褒美被下之	々御作事付"諸事当地"音入精遂吟味"付原田新六郎原田新六郎	道奉行山寺弥太夫跡 遠山源兵衛	仰付之	堀田備中守	興留庁 内藤若狭守	石川美作守	本多偏前守組大草主勝正組乗馬上覧 土井能登守	.丸 <sup>:</sup> 被為 成御供	晴		※被為 成御供觸四ッ時也	被 仰付之	野	氏和泉守頂戴之	間青山因幡守遠州濱松知行付之御書出父因幡守				舟弐拾艘廻舩猟舩共損毛 <sup>#</sup> 雑穀類少々痛申之由 ×	百九拾壱軒は山内大膳亮領分井川除堤破損八百	日松平土佐守領分風雨"付破損之覚潰家三千九	名代久世大和守	風		9	
羽 時 嚴 三	羽織四四	右御暇	時服五羽織	右継目御礼	純子三巻	金三枚	右参勤之御礼	箱肴	金馬代	右隠居御礼	金馬代	右家督御礼	時服五	右継目御礼	縮百把 枚	右病後御礼	箱肴	如例月之諸大名出仕御礼在之	廿八日 終日雨		弐百七拾七間小家百六拾八間但内弐軒堂宮也 破損例屋二百七十七間外	<ul><li>一同領分八月五日夜ゟ六日之八十</li></ul>	倒家弐百九拾三軒破損外 "小家弐百四拾三軒	田堤八百六拾間破損外堤少宛破損有之村数五拾ヶ村破損	堤石州弐百五拾五間は孫塩濱堤汐留弐百八拾六間破損新	《一》豫州松平左京太夫領地先月十八日風雨"付破損之覚川除	法皇 本院"以飛脚初鶴被進之	廿七日畴		進有之由申来ル	し右之通松平主殿頭小川藤左右	大破居城#侍屋敷民屋田畑損其上塩除之堤塩濱大破之よ	破損在之由長崎"何も注進右之内順房天草は一入風雨強
三枝右近	一柳對馬守		池田丹波守		半井驢庵	木下縫殿		土井周防守	松平周防守		土岐山城守		土岐伊豫守		松平若狭守		丹羽左京太夫				但内弐軒堂宮也	呀分迄風雨 <sup>"</sup> 付破損之覚堤	·弐百四拾三軒	吸損有之村数五拾ヶ村破損	堤汐留弐百八拾六間破損新	八日風雨。一付破損之覚川除					小川藤左衛門方より長崎御奉行淵注	上塩除之堤塩濱大破之よ	内嶋原天草は一入風雨強

	中央大馬子を   金馬代   本野長門守停一人   金馬代   金馬代	右駿府在番御暇	銀拾枚ツツ	白銀廿枚	時服 三羽織	右駿府加番御暇	同断
土方靱負	中 貞 子 号 大王:	ij F	: 円 -	秋元隼人	稲葉出羽守		安藤彦四郎
ヶ 一 小笠原遠江守領地小倉當月五日大風翌日六日迄風雨破損	松平土佐守内儀卒	晦日 暗 無事		一 昨日戸田相模守氏好卒故左門氏鉄三男也	右御暇	時服三羽織被下之 喜入求馬	区大男子世
	一〃三拾枚	一『五枚	一〃拾枚	<u>"</u>	一銀三拾枚	高巌院殿三回御忌御香奠覚	延寳六年八月五日

右上野火之番被 仰付"付御目見 土方靱負 本多主殿 大久保主膳 戸田石見守 松平備後守

野++-人 右初·御礼

欠 一

小笠原遠江守領地小倉當月五日大風翌日六日迄風雨破損 之覚塩入田畑八百拾丁八反損毛在之海邊之土手一万百拾

豫州松山松平隠岐守領内七月十八日巳刻より申刻迄大風 郷中蔵三拾八軒合千七百九拾三軒郷中作毛風損々高は未 内風「痛損毛青家故難計候 侍家三拾二軒町也弐千七百九拾一軒在之在々家右之外領 四間崩。城廻。塀所々損潰家弐千八百四拾弐軒内拾九軒 \_\_ " 一〃三枚 一〃五枚 一〃五枚 " 弐拾枚 銀拾枚 " 弐拾枚

安宮御方

水戸少将殿 紀伊中将殿 尾張中将殿 尾張中納言殿

水戸宰相殿 紀伊中納言殿 千代姫君御方

甲府中将殿

甲府宰相殿

舘林宰相殿

<u>\_\_\_</u> *\_\_\_ "* " 一〃拾枚 一 " 弐枚 一 " 三枚 一〃壱枚 " 
 本平左兵衛督

 内

 室

 戸
 松
 松

 田
 平
 新

 中
 財
 内

 内
 財
 内

 京
 内
 御簾 御簾中 <sup>舘林殿</sup> 淳正院殿 室

欠 銀馬代

自分之御礼

右京都帰御目見

次"松平大隅守帰国御礼使者御目見

羅紗拾間

喜入求馬

右唐津引渡帰

細井金五郎 新庄与三右衛門

知申候今月五日"も風吹候得共此儀未申来候也

高木玄濟

宮崎太郎右衛門三男三郎兵衛以鳥目初福用上大坂御蔵衆

石川市右衛門従大坂参上火縄差上御礼申上之

"

室

右御暇

津田源十郎

同圖書

時服弐羽織被下之

鈴木三郎九郎

一 " 弐枚 一〃三枚 一〃拾枚 IJ IJ 銀三枚 " 弐拾枚 一 " 三拾枚 一 " 三枚 " 松平三河守 松平刑部大輔 松平摂津守 松平陸奥守 松平加賀守 松平越後守 松平播磨守 松平出雲守 松平左京大夫 室

駿府在番之子供数輩始『御礼申上之 城州包永代金十五枚 隠居 "付 土岐山城守 半井通仙蔵 松平但馬守

為遺物進上之

御卓金紫銅

御刀備前與守御刀代金弐拾枚

右以銀馬代御目見

n n		<u>"</u>	一〃弐枚				一″三枚												一″三枚	一″五枚	一〃拾枚		一″五枚		一〃拾枚					一〃拾枚				一』弐拾枚
宗 對馬守	森 内記	松平中務大輔	毛利甲斐守	松平紀伊守	松平隠岐守	丹羽左京大夫	松平薩摩守	松平出羽守	松平新太郎	松平越中守	松平大和守	酒井左衛門尉	松平大蔵大輔	立花飛騨守	森伯耆守	上杉弾正大弼	松平信濃守	松平伯耆守	松平肥前守	有馬中務大輔	井伊玄蕃頭	佐竹右京大夫	松平土佐守	保科筑前守	松平伊豫守	松平相模守	松平安藝守	松平丹後守	松平大膳大夫	藤堂和泉守	松平右衛門佐	松平大隅守	細川越中守	松平越前守
阿部對馬守	鍋嶋摂津守	松平豊後守	黒田甲斐守	松浦肥前守	丹羽若狭守	一	一川弐枚ッッ				一〃壱枚			一銀弐枚										一 " 三枚						一″三枚	一』弐枚	一″五枚		一銀壱枚
伊達遠江守	松平九十郎	井上相模守	奥平小二郎	酒井靱負佐	浅野式部少輔	鍋嶋加賀守	脇坂中務少輔	喜連川左兵衛督	牧野因幡守	堀田備中守	土井能登守	阿部美作守	板倉石見守	太田摂津守	松平山城守	戸田越前守	仙光院殿	真田伊豆守	小笠原遠江守	本多中務大輔	水野美作守	戸田左門	酒井修理大夫	松平下野守	榊原式部大輔	本多下野守	大久保加賀守	土屋但馬守	久世大和守	稲葉美濃守	同河内守	酒井雅楽頭	織田内記	織田山城守
北条伊勢守	本多弾正	堀 長門守	永井伊賀守	小笠原備後守	杉浦内蔵允	石川若狭守	本多長門守	板倉伊豫守	戸川縫殿助	森 對馬守	谷 出羽守	永井市正	一銀壱枚ッッ	石川主殿頭	松平日向守	水野右衛門大夫	安藤對馬守	青山因幡守	内藤左京亮	秋田信濃守	加藤遠江守	戸沢能登守	津軽平蔵	板倉隠岐守	溝口信濃守	松平飛騨守	松平周防守	本多出雲守	戸田采女正	伊東出雲守	京極備中守	中川佐渡守	浅野又一郎	小出備前守
堀市正	遠山和泉守	鳥居左京亮	土方河内守	太田道顕	加藤織部	一柳山城守	金森万助	大久保平左衛門	大森半七郎	小笠原太郎左衛門	青木甲斐守	九鬼大隅守	西郷若狭守		相馬出羽守	牧野老之助	本多越前守	青山大膳亮	藤堂佐渡守	松平和泉守	南部大膳大夫	内藤紀伊守	稲葉右京亮	水野隼人正	松平丹羽守	水谷左京亮	本多能登守	戸田一閑	永井信濃守	本多平八郎	岡部内膳正	仙石越前守	松平主殿頭	松平伊豆守

丹羽勘助前气	田出出	井上筑後守	田村右京大夫	堀 周防守	真田伊賀守	本多肥後守	大久保山城守	大久保右京亮	本多美作守	三宅能登守	松平佐渡守	新庄主殿	西尾隠岐守	内藤右近大夫	立花和泉守	小出大和守	毛利刑部少輔	屋代越中守	小出伊勢守	稲垣信濃守	遠藤外記	大関信濃守	諏訪因幡守	片桐主膳正	本多飛騨守	小堀和泉守	堀 飛騨守	土井兵庫頭	加藤内蔵助	阿部伊豫守	池田数馬	京極備後守	木下右衛門大夫
有馬伊豫守	哲 中 示	元	五嶋飛騨守	佐久間備中守	成瀬惣右衛門	大村因幡守	戸田備後守	板倉市正	大森信濃守	一柳對馬守	織田信濃守	鵜殿十郎左衛門	毛利日向守	酒井日向守	六郷佐渡守	建部内匠頭	植村右衛門佐	土岐山城守	松平對馬守	三浦志摩守	土屋伊豫守	安部摂津守	遠山主殿頭	伊達宮内少輔	渡邊越中守	前田右近大夫	筒井内蔵	小笠原遠江守	溝口伊豫守	那須遠江守	最上刑部	伊東信濃守	分部隼人正
n	一, "弐枚	一 "五枚				一』壱枚	<i>"</i>	一銀弐枚	<i>"</i>	一金壱枚	塙 宗悦	秋月佐渡守	内藤若狭守	板倉筑後守	関 備前守	鍋嶋備前守	松平頼母	松平岩松	池田丹波守	細川丹後守	細川若狭守	堀 左京亮	松平遠江守	亀井能登守	増山兵部少輔	土方備中守	松平伊賀守	相良遠江守	伊丹大隅守	市橋下総守	久留嶋信濃守	岩城伊豫守	加々爪甲斐守
ゴ ガ	上井間方子松平源英	松平隱岐守	山口修理亮	織田主殿	太田原備前守	松平大学頭	小笠原内匠頭	本多兵部少輔	西本願寺	東本願寺	吉田意安	那須玄竹	牧野遠江守	石川美作守	松平因幡守	津軽越中守	柳生對馬守	松平上野介	京極甲斐守	池田信濃守	細川豊前守	松平備前守	南部遠江守	嶋津又吉	九鬼和泉守	朽木伊豫守	内藤和泉守	米津出羽守	保科弾正忠	松平市正	毛利安房守	木下淡路守	井伊伯耆守
七日同	右氣色能今日登 城也		六日 晴 無事		五日 晴 無事		出之	右例年此節御登山候得共御病中之間可為御延引旨被	一 柳菜子被遣之 日光御門跡江田北御門跡江	一初為被遣之 新院御所江	於評定所寄合土屋但馬守出座也	四日小雨		御暇被下 秋鹿長兵衛	右為重陽之御祝儀進上之	諸大名ゟ	at 188	三日雨		右昨夜死去	五郎八殿	一一日 晴 無事		御暇時ふく一使僧	中上候、番豆蕨方 茶屋小四郎参上	五百枚	(一本 御礼 説 田文 文替之 現活号報書	如例月之諸大名御礼有之次。	朔日唸		九月	延寳六 戊 年	柳営日次記

名代 無之 右當十七日日光御祭礼"付警固被 仰付之御服"付 那須遠江守 御 松平肥前守 松平若狭守 酒井左衛門尉

大久保加賀守従弟差合是松平内匠頭妻死

八日雨

甲府中将殿 舘林宰相殿 辰刻御黒書院江

出御 御刀米津周防守

九日晴

御白書院 渡御

右御對顔

紀伊中納言殿

紀伊中将殿 水戸宰相殿

水戸少将殿

松平左兵衛督

同 近江守

右御礼畢而

日吉大膳

大廣間 渡御

松平左京大夫

松平三河守

松平陸奥守

松平伯耆守 松平伊豫守

丹羽左京大夫 松平薩摩守

上杉弾正大弼

松平豊後守

毛利甲斐守

松平大蔵大輔

織田伊豆守

森

伯耆守

右壱人ッ御礼畢而

松平遠江守娘

御譜代衆

四五人宛

右御礼終而

右一同 御礼在之

鞍一口 井関次郎左衛門

十日 晴 無事

蜂須賀飛騨守娘卒去

十一日晴

右忌御免登 城也

宿継を以献上之

禁

裏

大久保加賀守

十二日 晴夜三人雨

於評定所式日寄合久世大和守

御暇被下之

那須遠江守

土岐宗是在所へ御暇依願次男右近可召連之旨

八王子千人頭河野与五右衛門組之同心十四人今度結徒黨對頭難題申懸

依之前廉御鑓奉行太田善太夫設楽甚三郎大久保新八郎遂穿鑿

其上於評定所与五右衛門 #組頭と度々令對決之處偽申懸段無紛

頭取仕五右衛門三郎兵衛加左衛門弥五兵衛此四人流罪被仰付候

角左衛門伊兵衛右十人、江戸"八王子十里四方追放被 仰付之 相残る加兵衛吉兵衛傅左衛門次郎右衛門助右衛門十衛門太左衛門佐五兵衛

| 与五左衛門事常々組中申付不可就付而此之訴訟申出之急度雖可

仰付申分相立付而御用捨被遊申渡之惣而千人頭,遠所罷在組中仕

置等不宜樣相聞之間自今以後作法能可申付之旨申渡之

松平隠岐守

十三日小雨

三三人

依而也

右惣領被

仰付旨被 仰渡之是惣領市正事病氣"付引込

主水

右出座 御目見終而

金 院

明十五日日門"御對顏"付例月之出仕無之

老衰

高木喜右衛門 松前八左衛門

御使番

大久保三十郎

知

足 院

寄合衆

右願之通御役御免

右両人奥州。御馬買被遣。付被下之

秋山六左衛門

門奈助右衛門

十五日 地震

甲府太守正三位宰相兼左馬頭源朝臣綱重卿

儀藤枝氏 " " 因茲為何御機嫌諸大名番頭諸役人登 城謁 右昨申刻於江府逝去行年三十四歳家光公之御次男也御母

未之下刻御逝去 央 久々病氣之也一昨十三日俄 "御支被差發昨十四日

甲府中将殿江上使久世大和守被遣之

第 本 典 能 登 守

十六日時

右御悔也

同断 付

昨日之通為御機嫌何御一門方諸大名登 城也

十七日 晴

用之由老中傳之 昨日之通諸大名諸旗本為伺御機嫌登 城明日より出仕無

御服中"付 御宮 御名代無之

尾中将水少将登 営謁老明日ゟ魚類御膳被召上可然之由被奉願其通被仰

十八日 晴

為何御機嫌御三人方,四品以上諸大名ゟ使者被差上之

為伺御機嫌奏者番詰衆登 城也

四百石

百石寺領

泉 涌 寺江

右新知被 仰付之旨頃日京都『宿継を以被 仰遣之

右為御悔被遣之是御妹松平左兵衛内室卒去"付"也

十九日 晴

登城 大坂御目付

奥田八郎右衛門

日光帰登

那須遠江守

右御忌"付御礼無之

千枚被遣之

廿一日 暦 県巳刻 か

廿二日同断

於評定所式日寄合在之稲葉美濃守

廿四日

今朝御精進被為解之御膳常之通被 召上之

般 舟 院江

甲府殿昨夜於傳通院御葬礼在之廿日ゟ廿三日迄、清泰院

與為病氣神尋 紀 伊 殿江上樓給平因輔守 上樓給平因輔守 上樓

近藤五左衛門

御一門ゟ使者を以御機嫌相伺之

上野御佛殿流就御忌御名代無之

甲府中将殿江上使土屋但馬守

廿三日曇

濃守御香奠白銀弐百枚被遣之 清泰院殿廿三回忌御法事就御結願傳通院為上使稲葉美

就御忌中增上寺御名代無之

廿五日

甲府中将殿江

右為御見舞老中不残被相越

水戸領去九日ゟ十日迄氷雨降田畑等多損亡之由申来

御座之間

右摂津守濱松之城引拂"付其内彼地"三好備前守山岡三

郎兵衛可罷越旨被 仰付之

太田摂津守

右大坂"近日罷登候"付為引渡

石川市正

右彼地当可被遣旨被 仰付之

摂津守儀近日當地発足然、濱松城頓 "引拂付"其節本多越前守在

所ゟ彼地へ罷越可勤番青山因幡守大坂ゟ濱松到着之砌右之城因幡守 引 渡越前守儀 在所へ可帰旨且又間列人数武具等別紙 "記遣之

馬上廿騎 弓廿張 鉄炮五十挺 鑓三十本

御暇時ふく弐ッッ 春木大夫

山本大夫 使者

廿七日 紫

時服四

野崎主税

是甲府御逝去"付被差上之

三好備前守山岡三郎兵衛遠州濱松城為引渡可被遣旨也

如例月之御一門方諸大名登 城謁老中退去

来月朔日も未御忌中之間出仕無之由被 仰出之

廿九日 晴 無事

十月大

柳営日次記 延宝六 戊午 年

朔日晴

如例月之出仕無之

甲府殿御法事先月廿八日ゟ有之今朝相済 "付傳通院"

為 御名代大久保加賀守被遣之

御暇

右御忌中伺御機嫌也

松平新太郎内儀以之外之由

一 八幡豊蔵坊使僧御暇時服壱被下之

東福門院御遺物被為進之

御手鑑禁裡御繪御色紙

御卓

脚脚 帖

御掛物

幅

大猷院様御自画御自讃

(■は火へんに主) 御屏風一双 花鳥繪狩野雅楽助筆

十■御香具

時服二

御暇被下

宮崎太郎左衛門

三日非風

四日 晴北風

於評定所式日寄合大久保加賀守出座

五日晴

右御忌明登 城於 御座之間 御對顔終。於同席

一愛宕長床坊使僧御暇時服一被下之

那須遠江守

一高巌院殿御三回忌の御法事先月於東叡山御執行儀之日門ゟ

<sup>銀馬代</sup> 和越左門	銀馬代 押懸+ 岡部数馬	П	同断 阿州州 蜂須賀飛騨守	箱者 御礼 松平長門守	√ 近藤五左衛門	同断 御祖 / 奥田八郎右衛門	御礼 御礼 堀 長門守湯治帰 大坂加番帰 堀 長門守	第4 and 一戸田左門	岡部備後守	土井兵庫頭	<sup>銀馬代</sup> 植村右衛門佐	金馬代 参勤之御礼 松平信濃守白編子廿巻 参勤之御礼 松平信濃守	" 有後之 松平下総守	<sup>箱者</sup> 御礼 松平摂津守	野沢縫殿	佐々木民部卿	東巻 信解院	打技箱入 「下) 行	an 大口 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	巳刻御黒書院 出御京都帰御對顔	六日暑		伊右衛門女房	総国大田各村 小右衛門	野専職の子が、	高喬才名主 次右衛門	新月田子所曽田村名臣 兔見助毛新田子所令七郎 佐藤四郎右衛門	左衛門	司儒学寸 司 当色寸 司鉴奇寸 追放御免 三郎兵衛 高柳村三之丞 傳十郎	1 I	左 衛門 下	・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	「日 有号町列兵新店 ・兵衛 太郎兵衛 「記記」	7 7 6	御勘氣御免 細田小兵衛 永田九郎兵衛	赦之儀申上られ左之通御免皇女甲を
		酒井雅楽頭	御剱 内藤上野介	一 酉后刻御白書院出御御玄猪之御祝在之出座之面々	守妹卒	右従弟差合堀田備中守伯母忌無登、城是、堀田加賀	稲葉美濃守	八日壽		一 二被遣之 御暇 松井惣兵衛 時服	老中傳之	右被為 召阿波守跡式弐拾五万七千石無相違被下之旨	蜂須賀熊太郎	七日 南風		一同"御礼 御書院番	右差上御礼申上之	一 火縄世筋 奉行 参府 石野三左衛門	天野孫十郎	同 汽车车辆用子 液邊権六郎	同断 初見 旅之作者 子左門	同断	同断	銀馬代 分知御礼 ○ ○ 「同 亀之助	黄金弐枚 御礼 司人欠男 大學 長吉	同断 山岡三郎兵衛	黄金三枚 演於城引漢 / 三好備前守	<sub>無之</sub> 渡邊越中守	羽折 期 関大蔵	同断 " 板倉隠岐守	羽折御暇青山大膳亮時服五	右為伺御機嫌被差越	### 松井惣兵衛	染革十枚 京都帰御礼 昆胚皮皮疹 牧野半右衛門	第7 一 前田帯刀	銀馬代 婦御礼 司祉與 石見守 雨鞍覆五 同所在番 (稲葉)石見守
	│ 神谷長五郎	羽折 / 小菅猪右衛門	今度奥方御普請出来"付御褒美被下之	十日暗		右、先御内證之由	御産之節箆刀之役可被 仰付由右被為 召老中傳之	戸田左門	同矢取之役 酒井岩千代丸	御誕生之節蟇目御役	酒井河内守	九日暗		御手自御餅被下候都合三百拾三人也	番頭諸物頭諸役人等如例年順"罷出	右は順"御餅頂戴之松平遠江守始御譜代衆詰衆諸	大久保加賀守	松平隱岐守	酒井左衛門尉	立花飛騨守	煩 毛利甲斐守	上杦伊勢守	織田主計頭	畠山下総守	<sup>魚</sup> 酒井修理大夫	酒井河内守	土屋但馬守	久世大和守	大沢右京大夫	松平下総守	井伊玄蕃頭	類 丹羽大京大夫	松平播磨守	松平刑部太輔	吉良上野介	松平左京大夫

```
十四日
                                                                                                                                                                                                               明十三日西丸≒被為成御供觸四 時也
                                                     十五日
                                                                                 是與方御作事御造畢「付」也
                                                                                                                                                                                  午刻西丸 涯御御供
                                                                                                                                                                                                                         右於在所病氣"付子息平三郎御暇被下之
                                                                                                                                                                                                                                                     於評定所式日寄合在之土屋但馬守出座
                                                                                                                                                                                                                                                                十二日
                                                                                                                                                                                                                                                                                   右忌
                                                                                                                                                                                                                                                                                                      十
一
目
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  右御悔被遣之是同氏新太郎内儀卒去"付"也
                                           如例月之諸大名出仕御礼有之
                                                                                                                                                                                            十三日 晴
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          新太郎在国"付奉書遣之
                                                                                                                                                                                                                                           御免今日登
   晴
                                                                         銀三枚宛
                                                                                               白銀弐 枚ッツ
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             母義卒去付也
                                                                                                                         御菓子被遣之
                                                                                                                                                                                                                                                                                   城也
                             参勤御礼
                                                                         大工弐人
                                                                                                                        同心六人
                                                                                                                                                                                                                                            細川越中守上使大久保加賀守
                                                                                                                                                  御留守
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            松平伊豫守
                                                                                                                                                                                                                    但依奉願也
                                                                                                                                                     内藤若狭守
                                                                                                                                                              松平因幡守
                                                                                                                                                                                                                                  近藤縫殿
     本多織部
              本多兵部少輔
                             細川越中守
                                                                                                                                            石川美作守
                                                                                                                                                                         土井能登守
                                                                                                                                                                                                                                                                                             稲葉美濃守
                                                                                                              羽折被下之
                                                                                                                        右は東福門院御遺物持参"付御目見且暇時服弐
          右御改有之
                             十六日 時北風
一舘林家司大久保和泉守事年来奉公之心入悪"付不届依被
                                                                                                                                                                                を

を

東

を

本
                                                                                                                                                                                                                                                                                                              真御太刀大原真守 御礼 代金五枚
                                                     御茶壷木枯進上之
                                                                                                                                                             銀馬代
                                                                                                                                                                  時服三
                                                                                                                                                                       東 御巻 礼
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       編二百把

検

大

大

大

大
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 ·
銀馬代
銀馬代
銀馬代
                                                                                    時服三
                                                                                         差
上
                                                                                              短冊二枚
                                                                                                                                                                                                                同断
                                                                                                                                                                                                                          東巻
                                                                                                                                                                                                                                                                        壱 壱 壱
巻 東 巻
                                                                                                                                                                                                                                                                                      弐 東
                                                                                                                                                                                                                                                                                             上同断
                                                                                                                                                                                                                                                                                                       箱肴
                                                                           時服二
                                                                                                                                                                                                                                                 東巻ッツ
                                                                                               御礼申
                                                                                         上之
                                                                                                   御参用見
                                                                                                                                                                                             輪番代
                                                                                                                                                                                                                  輪番代
                                                                                                                                                                                                                                                                                      新知被下
                                                                                                                                                                                                                                                                          同段
                                                                                                                                                                                                                                                                                 御礼
                                                                                                                                                                御目見
                                                                                                                                                                                                      継目御礼
                                                                                                                                                                                                                                                                                                       病後御礼
                                                                                                                                                                                                              御礼
                                                                                                                                                                                                同所行人方 清浄心院
                                                                                                                                                              ₩<sup>須賀家老</sup>
山田豊前
二之宿
                                                                                                                                                                                        本山先達上生院
                                                                                                                                                                                                           同 後人方 善集院
                                                                                                                                                                                                                     高野山学侶方 光雲寺
                                                                              同行人方
                                                                                 妙意輪寺
                                                                                                                                                                                                                                                           泉涌寺塔頭民部卿
                                                     松平阿波守
                                                                        来迎院
                                                                                                                                                                                 大覚院
                                                                                                                                                                                                                                  南禅寺
                                                                                                     岩松検校
                                                                                                                                          長谷川主計
                                                                                                                                                     蜂須賀隼人
                                                                                                                                  三宅権之助
                                                                                                                                                                                                                                                                        般舟院弟子
                                                                                                                                                                                                                                                                                   泉涌寺
                  稲葉石見守
                                                                                                                                                                                                                                                                                            鍋島紀伊守
                                                                                                                                                                                                                                                                                                      南部遠江守
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        松前兵庫
                                                                                                                                                                                                                                            草岩西堂
                                                                                                                                                                                                                                                      孤雲西堂
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     須賀熊太郎
                                                                                          八兵衛
                                                                                                                                                                                                                                                                              旨隠長老
```

思召松平相模守へ御預ヶ之旨今日評定所へ召寄渡辺大隅 守安藤次右衛門右之旨趣申渡之相模守家来。渡遣之

旨美濃守宅へ中山勘ヶ由筧新兵衛呼寄右之趣土井能

和泉守養子八郎左衛門事御役儀被 召上閉門被仰付之

登守申渡之

十七日同

紅葉山 御名代無之

大久保和泉守

泉守評定所。招之松平相模守。御預之由大隅守申渡之 右宰相殿。御奉公之仕用段々不届在之趣達 上聞昨日和

右御役被 召上其内閉門被 仰付之 大久保八郎右衛門

阿部忠左衛門

同 四郎五郎

故女院様御下屋敷二条河原"在之 日光御門跡御願"付而 右之儀 "付自分逼塞

十八日 晴

被為進之旨観理院治老中傳達之

宿継を以御進献

法皇

本院御所江

堀田備中守

右忌御免登

一御鑓奉行吉田善大夫設楽甚三郎大久保新八郎招殿中千人

組之同心四人追放之儀美濃守申渡之 河野与五右衛門組同心 高室四郎兵衛御代官所百姓 八木宿御年貢地永代二賣主 原代"買主 永代"買主 六右衛門

右二人義御法度相背之御年貢地永代賣買之趣依令露顕御

證人罷成就令加判千人組同心四人依其科御追放也左之通 穿鑿之上右永代"買取之地は被召上之六右衛門損失也賣主孫 右衛門儀致逐電経数年之条不知其行方也且又永代賣買付而

千人頭河野与五右衛門組 千人頭萩原七郎兵衛組 八木宿 同宿 五兵衛 甚五左衛門 千人頭志村兵太郎組源 左衛門 千人頭同組 久保宿

仁右衛門

同  子文庵 大膳亮三悦	右被遣之是宰相殿口中痛御見舞也 於評定所式日寄合在之久世大和守出座也 上使酒井壱岐守 出工日 時	可有之由同公之面々老中傳之 可有之由同公之面々老中傳之 可有之由同公之面々老中傳之 である。 では、「一、「一、「一、」」では、「一、」、「一、」、「一、」、「一、」、「一、」、「一、」、「一、」、「一、	今日吉辰"付老中不残   中一日 時   世平弓   大 (海總衣橋差上之)   神優刀   大 (海總衣橋差上之)   神優別   大 (海總衣橋差上之)   神優別   大 (海總衣橋差上之)   神優別   大 (海總衣橋差上之)   神優別   大 (海總衣橋差上之)   中田 左門	十九日 <sub>時北風</sub>
廿八日 啃	一	一 今日年田川"可被為 成处雨天 付 御延弓 十六日 畴 ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## ## #	四日 時夜 『人雨 出五日隅田川筋『御鷹狩被為成御供觸五時 十五日隅田川筋『御鷹狩被為成御供觸五時 上寺 御名代 土屋但馬守 上校商井雅楽順 編集美語守 編集美語守 「個名代 土屋但馬守 上校商井雅楽順 編集美語守 「個名で 「中中将殿 中田中将殿 中間左之通 上校商井雅楽順 「一大校商井雅楽明 「一大校一大校一大校一大校一大校一大校一大校一大校一大校一大校一大校一大校一大校一	一

如例月之諸大名出仕御礼有之

金馬代金馬代十間 松平土佐守 松平主殿頭 松平紀伊守

御病社之

湯治帰

松平備前守

超前 生込忠左衛門

熊泥障弐懸

御祈祷相済"付参上 就御誕生 (後住之 浄光院

新善法寺 松島作臺

愛宕

鳳来寺

神主 鈴木主計

明廿九日角田川邊『御鷹狩被為成御供五》時

辰后刻角田川邊為 御鷹狩渡御

堀田備中守

石川美作守

神留守 内藤若狭守

稲葉美濃守

土井能登守

松平因幡守

御留守居衆

惣御数四十八之内

御拳言 白鳫

真鳫

分鷹

壱

白鳥

壱

黒靏 五.

白鳫 壱

鴻

小鴨 五. 青鷺 壱

稚鴨 四

晦日晴

昨日御狩之鳥ニッッ被下之

禁裏	御献上之		
	席芙蓉之間大和守傳之	公井宗左衛門 六	
1	御免也	須田平左衛門セ	
高 木 毛 石 青	小袖弐被下 御役	高橋九左衛門	
大坂御蔵奉行	ţ	一柳庄三郎	
	是は如列年披下之	松平又十郎	
木母寺	白銀十枚	書院小姓組番頭 各	п
(単類り之御鷹也)・一付被下之	是は御拳『※白鳥被為御取候』付被下之	を終れたよう <sup>留守居</sup> 日下作左衛門	п
欠 乾 長太夫	金十両	agre 三上源右衛門	銀馬代
荒井十兵衛		<sup>留守居</sup> 保々八郎右衛門	同断
/ 山中惣右衛	銀五枚ッツ	※全等 阿部伊織	同断
□ ★ #	1 1 1	**************************************	同断
/ 佐山角左衛	司恰改 ツツ	· 受租 十左 衛門	同断
/ 小野吉兵衛		渡辺平左衛門	同断
/ 加藤傳十郎	世枚ッツ	松平一学	同断
小栗長右衛	同断	瀬名傳右衛門	同断
戸田七之介	同断	鈴木四郎左衛門	時服弐
加藤伊織	同断	山口孫太郎	同断
間宮左衛門	同断二	藤枝丹波守	銀馬代
清水権之介	(羽織三	戸田伊勢守	同断
伊奈半十郎	( 小袖三	星野美作守	銀馬代小袖四
	御納戸前	A. 非守中等發揮家營 解科十四郎	( 金馬代 御礼 初面 ) ( 金馬代 )
	還御就被為 成被下之席	前 向 于	
御成被遊御物数御機	一 去、廿九日當冬初,御鷹野 《	<sup>象動之齳礼</sup>	白銀三百枚参勤
	碧之紫茶壷		一 御黒書院 出御
	御茶入京極茄子同赤盆		右御對顔有之
	御刀備前守家代金五十枚	舘林殿	
甲府宰相殿	_		右御礼終而
順性院殿	二種一荷進上之 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	熨斗鲍御手自被下之 熨斗鲍御手自被下之	代金七枚代金七枚
類 √戸田又久		雅目	小袖二十
忌合 小田切新右衛			御座之間
羽太庄左衛			朔日暗
ヶ 波田庄左衛			
山高十右衛			十一月
森川四郎右衛			延宝六 戊午 年
吉田五郎兵	各銀馬代		柳営日次記

御成被遊御物数御機嫌能

甲府宰相殿

/戸田又久 +

小田切新右衛門 ヵ

波田庄左衛門 羽太庄左衛門△

山高十右衛門四 森川四郎右衛門 五 吉田五郎兵衛三

御献上之自鳥

高木甚右衛門 名川市右衛門

、佐山角左衛門 小野吉兵衛 加藤傳十郎

小栗長右衛門 戸田七之介 = 加藤伊織 間宮左衛門 清水権之介 伊奈半十郎 松平右衛門佐安宮御方『是又女中を以御狩之鳫二被遣之 ・と世界職権・ 上後土屋但馬守 ・ 一代姫君御方へ女中を以御拳之鳫一被遣之

明朔日甲府殿御家督之御礼在之候"付例月之出仕無之

右江府到着"付被遣之

11日 暑小雨 殿中無別条

三日晴

御鷹之

石川美作守 紀伊殿 水戸殿

上使松平因幡守

尾張殿當春御暇之節拝領之御鷹捉之靏以使者宇津木 八右衛門従国許被進之 與弓箭 #射法之御書物諸礼法儀之御書物乗馬 #手綱之

御書物小笠原丹齋献上之

四日景

於評定所式日寄合稲葉民守出座

五日

殿中無別条

井上帯刀

同断 花房大膳

石川六右衛門跡

同三

銀十枚

時服

御暇一付被下之

同 新之助

御表向より御目見可罷出旨被

仰付之

右近年病者故奉願付『只今迄、詰衆たりといへ共向後

松平与右衛門組より 内藤十郎兵衛

同断能勢市十郎組与頭被 仰付之

朝比奈新太郎

室生大夫 九郎

御役被 仰付 六 日 同折々小雨

新御番組頭遠山半左衛門組与頭被 仰付之

小十人秋田平大夫組与頭被 仰付之

天野甚左衛門組より 大久保平三郎

八日晴

翻被遣之

登 即刻為御礼

上使内藤上野介 上使内藤上野介

蜂須賀飛騨守

山城守三人不知齋宅 相越 上意之通山城守演達之 右今日大目付大岡佐渡守御留守居衆大久保右京亮大久保

右之趣中将殿へ今朝被 仰遣候間可存其旨事

儀一切構申間敷事

時 銀 世 枚

春藤権七

七日晴

黒野又右衛門 本間仁右衛門

右甲州 引越可罷在由昨日被 仰付

新見無智齋

土田惣兵衛

安食与五左衛門 長崎五郎兵衛

両新御番組頭組中御引渡有之

尾張殿

九日 晴北風

右宿継を以被遣之

東意庵宗悦上地院文庵御誕生前隔番"泊番被 仰付之

右五人大奥御廣敷添番被 仰付之

小普請

板倉市正組 木村甚大夫

板倉市正祖 花井半左衛門 大久保山城守 花井半左衛門

午刻西丸道被為成御供

土屋市之丞組 板倉市正組 水谷文右衛門 上村吉右衛門 境野八郎右衛門

市正組 市正組 (■はさんずいに泰) ■ 弥五左衛門 ☆

<sub>大久保左京亮組</sub> 奈佐又助 坂本理兵衛

與 稲垣備後守組酒井壱岐守組乗馬

上覧

石川美作守 内藤若狭守 堀田備中守

御留守居衆

板倉市正組

佐久間惣右衛門 二

右拾人御徒目付被 仰付之

甲府中将殿家老新見不知齋"被仰渡之趣

中将殿今程若年野之事候条不知齋儀■許有之而內證

之異見等申候『は不可然被思召之間妻女共召連

十一日

右父名吉右衛門"可改旨被 仰付之

久保五兵衛 事

一御産前付"御留守居衆一人充自今晚 御城可泊之旨老中被傳之

十二日

於評定所式日寄合大久保加賀守

今一人家老役之者被成御附仕置等諸事従 公儀可被

甲州へ相越緩々可罷出事

仰付候間氣遣不仕中将殿義、不及申候へは家中之

御座之間

三千石被宛行 岡部源太左衛門

右被為 召甲府中将殿道御家老被為附則被下之

甲府中将殿。以土屋但馬守右之趣被仰遣岡部源太左衛門令同列 先臣両人岡野美作守戸田伊勢守相續万事可入精之旨 上意

因茲大久保右京亮先達 参上

又

昨日也

御産前 "付御留守居頭壱人 ッッ 奥方¤泊番可仕旨且

上地院 意安宗悦 大膳亮

圓 庵

		-	-		
イラミ	反介与毛护江	具作多名和由本人 化多霉人区零字者多 雀	即馬弋奉子弘由与之"计学鉴之为奏旨香农",即頁	ラノ 男フ 昼石下村言旨	目吉 一皮 印
同断	景光御刀	同断	信国御刀	同 五枚	野野御フ

	į. Įi	雪井日旬于江	世名 川崩 十良	名川 泰口		反介写是デエ	作者ぞ系由有1% 作多關1%世多者習然 後到
Þ	同	延	目	片	同	景	同

松平肥前守江 丸田小左衛門

廣津平兵衛

井戸惣右衛門

秋元摂津守江

土井兵庫頭江 久連松五兵衛

曽我権之丞立合申渡候家来『引渡 右之面々今朝評定所"おゐて大目付渡辺大隅守御目付

十二月

昨日家老被為附之為御礼登 城 御對顏退去已後岡野美

作守戸田伊勢守岡部源太左衛門一同 御目見

甲府中将殿

右登 城於 御座之間 御對顔

今度甲府殿為遺物方々『被遣覚

欠記

(代金同断) (代金同断) (代金三十枚) (代金三十枚) (大金三十枚) 代金三十五枚 · 代金十五枚 来国光御刀 尾張中将殿 尾張中納言殿 水戸宰相殿 紀伊中納言殿 二条前摂政殿 舘林宰相殿

寒山繪日観筆

稲葉美濃守 酒井雅楽頭

久世出雲守妻昨夜女子平産之由

右伯耆大山学頭被 仰付候御礼

御紫御権礼衣礼僧

喜多院

#EF# 東禅寺

小嶋大貮

同断

実成院

右出羽羽黒山別當職被仰付之御礼

同断 香包

参府之

走水

大岡次郎兵衛

不動院

箱肴 箱肴 小糸嶋三反 手綱十筋 御礼

観世座之輩並居 御目見 御簾屋徳右衛門并

大久保加賀守

土屋但馬守 久世大和守

堀田備中守 土井能登守

三田八郎右衛門

望月徳右衛門 今村彦兵衛 永田七左衛門 同 中 同 断 来 御 刀 同断 片山一文字御刀 延壽御刀 大久保右京亮 板倉市正 内藤若狭守 石川美濃守 松平因幡守 戸田備前守

相州秋廣御脇差二字国俊御刀 同断 重介御刀 酒井河内守 柳生對馬守 大久保山城守

十四日暗

無記事

十五日晴

明十九日西丸≒被為成 御供■五ッ■

無記事

十八日同断

紅葉山

御名代 御服在之御誕引也

十七日 晴北風

如例月諸大名出仕御礼有之

金馬代

4 献上之 参勤御礼

尾張殿使者松平越中守

宇津木八右衛門

渡辺半兵衛

西丸潭海御也 十九日 雨

右千代姫君様御家老中山茂兵衛被為附之御礼

凌雲院

御三人方。如例年御薬種被遣之家臣殿中。招之

老中傳之

廿日晴

東叡山御名代稲葉美濃守

右尾州鳴海去十五日死去也

能勢目向守

松平仁右衛門衛業石見守組与 伏見勘七郎

於御前御役替左之通

世 一 日

上使渡辺久助

以上使御鷹之靍被遣之

使番 岡部源左衛門跡

御書院組頭

細川越中守 松平陸奥守江

一細川越中守より八代蜜柑十箱献上之

右為御礼登

十六日晴

/ 渡辺平兵衛

被下之のツ

(日次記は席躑躅之間) 席躑躅大和守傳之

以上使御鷹之靏被■之即刻御礼として登 城 上使安庫を岐守 を選続して登 城 上使安庫を岐守 に関か中将殿 に関か中将殿 に関か中将殿 に関かり に関かして登 城

		廿九日 晴北風	土屋相模守	参府之御礼	箱肴
			松平虎之助	初無御礼	(銀馬代
献上之	松平新太郎内儀より以使者献上之	右松平新太郎	<b>計算 里田甲斐守</b>		(金馬代 無紗五間
	遺物 韻歌 為之筆	遺物 昌	松平日向守	参勤御礼	金馬代金馬代
	上也	右は従京都参上也		出御	巳刻 御黒書院
梅原七右衛門	礼本	差上 御礼 馬柄杓壱本	_		廿五日晴
<b>等</b> 會币	仰付御禮	右所増被 仰			
上林峯順		<b>弐</b> 十枚		大久保加賀守	増上寺 御名代
神原越中守	参府御礼	箱肴			廿四日 晴北風
	名出仕御礼有之	如例月之諸大名出			
		廿八日 畸		也	右為御礼登 城
礼也	中 上使被遣御礼也	右登 城是忌中	松平右衛門佐松平右衛門佐	上使	
松平伊豫守			地区 化银石 新用		以上使御鷹之靏被遣之
	971 -	廿七日 晴夜"入雪	千代姫君御方甲府中将殿	同	
勝仙院使僧	御暇	被下之時服二	上使司人	上使司人给	
<sub>13.1</sub> 阿知波加右衛門		時服三	雪 F F 5 支 F	一箱ッッ被遣之	以上使八代蜜柑
nd lack dec fair on		廿六目			廿三日晴
		右被 仰付之		組中引渡之	一御書院番組頭組中引渡之
田嶋永琢	高木善宗跡役	高木善高木善	_	仰付之	何も同罪被 仰!
<b>御小納戸坊主</b>	即下內当方臣且頁 今井三郎右衛門跡役 火之番紅卵	即卜內 三 步 一	]三男近藤弥次郎右   一	惣領廣沢七郎兵衛次男近藤甚左衛門三男近藤弥次郎右	惣領廣沢七郎兵
<sup>興国付</sup> 稲葉清左衛門	帰御礼日光御目付	: : 欠 :	仰付之且又	右取分私曲有之"付於牢屋御成敗被	右取分私曲有之
\ 山岡三郎兵衛	御礼		廣沢平兵衛	昨日也	
/ 三好備前守	濱松引渡帰		B代奉行 石川市正	御目見 馬代大坂引渡帰	
石野虎之介		同		御座之間	
でで即送出手が三日有事門 現金 は 井瀬千県ノ田 南野		鳥目		合土屋但馬守	於評定所式日寄合土屋但馬守
大膳亮文庵	始而御目見	一 一 本 東			廿二日畸
設楽太郎兵衛	同	ĪĪ.			
松平清三郎	参府	箱肴		連松五兵衛事あがりやへ相渡っ	連松五兵衛事
	遣御礼	右御鷹之靍被遣御礼	門井戸惣右衛門久	使無之相残長谷川藤七郎丸田小左衛	使無之相残長
阿知波加右衛門	御目見		弥一郎是又刎首検	.人子廣沢七兵衛近藤甚左衛門同弥一	刑同人子廣沢
	参 上	(銀馬代	- 日於獄所被行死	預之御穿鑿之處申分重畳不届"付為今日於獄所被行	預之御穿鑿ク
作	同	同断	比松平備前守海	馬代奉行廣沢平兵衛儀私曲有之付去比松平備前守垣	一馬代奉行廣沢

右之与力銀世五枚 同心 三十人年 白銀等被下之

右被為 召 盗賊改御免為御褒美被下之

右同人工重陽之御内書被下之

右為御礼登 城也

翻被下之

松平伊豫守

右之使者。如例時服頂戴之也

晦日晴

被遣之

日光御門跡江上使畠山下総守

御座之間

井上太左衛門

```
以上使御鷹之靍被遣之
               四日晴
                                                                                                                                         松平丹波守宅ゟ出火本多越前守類焼゠゙゙静に
                                                                                                                                                                                    宝樹院殿御正當"付御名代久世大和守
                                                                                                                                                                                                  一日晴
                                                                                                                                                                                                                                                                       右被
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   柳営日次記
 於評定所式日寄合在之久世大和守也
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     就献上 御目見申上之
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               例月之通諸大名出仕在之
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              朔日晴
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      延宝六 戊午 年
                                                                                                                                                                                                                                                         一及夜陰大職冠之舞被仰付之畢『被下物
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         十二月
                                                                                                                                                                                                                                                                       仰付之
                                                                                                                                                                                                                                            時服三
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  箱肴 從三崎参府御礼

井上太左衛門跡
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       鉄炮壱挺
                                                                                                                                                                                                                              三右衛門
                                                                                                                                                                                                                                           小八郎
                                                                              同石尾七兵衛
                                                                                            同高木忠右衛門
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      国友■左衛門
                                                                                                               松平土佐守上使日下部権大夫
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          板並屋勘左衛門同一兵四郎
                                          仙石次左衛門
                                                                                    佐竹右京大夫三
                                                                                                  井伊掃部頭 =
                                                       保科筑前守
                                                                     松平越前守 五
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  同
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             幸若小八郎
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  川田六郎左衛門
                                                                                                                                                                                                                                                                                    石川介左衛門
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  五左衛門
                                                                                                                                                                                                                                                                                                               三右衛門
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        兵四郎
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                今朝雪"付為御機嫌)四品以上諸大名より] 使者上
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        御旗本之面々跡目被
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       右昨夜隣家出火といへ共無別条"付被遣之
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                五 日 曇辰上刻ゟ雪
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           一今晓松平丹後守宅出火本多越前守屋敷類焼云々
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              五千石 /四千五百石
                                                                                                                                                                                                                                                                                                  四千石
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  被遣之靏
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                五百石
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        仰付之
                                                                             秋田平大夫組与頭 六右衛門子
                                                  大久保山城守組 庄太 夫子
                                                                                                                      大久保右京亮組 内匠養子
                                                                                                                                                                             大人保山城守組 市郎右衛門子
                                                                                                                                                                                                                                               千代姫君派衆 五郎左衛門子
                                                                                                 本多%醫守組 源四郎子

井上岩八郎
                                                               戸田備後守組 権之介子
                       嶋田権三郎組 勘兵衛子
                                                                                            田中大隅守組 理兵衛子
                                                                                                                                                             梅市出租 次郎兵衛子
                                                                                                                                                                                   安田久助 安田久助
                                                                                                                                                                                                                                     新御番組頭清兵衛子
                                                                                                                                     板倉市正組 小十郎子
                                     御勘定衆 勘右衛門ス
                                                                                                                                                                                                                       道奉行 弥大夫子
                                                                                                                                                                                                                                                                                             寄合 半九郎子
山田仙庵
                                                                                                                                                  同組 伊右衛門子
                                                                                                                                                                                                                                                                縫殿子
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      甲府中将殿州建立介松平安藝守
                                                                                                                                                                                                                                                                              左京子
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     土佐守子
                                                                                                                                                                                                                                                                                                          日向守子
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       同人次男
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  兵部大輔養子
               矢頭権大夫
                                                       岡部六郎左衛門
                                                                                                                                          大村源太郎
                                                                                                                                                        三上半兵衛
                                                                                                                                                                                                             山寺甚左衛門
                                                                                                                                                                                                                                          本間傳十郎
                                                                                                                                                                                                                                                       近藤平三郎
                                                                                                                                                                                                                                                                                   遠山七之丞
                                                                                                                                                                                                                                                                                                能勢次左衛門
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            本多右衛門
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          大沢右京大夫
                                                                     石川長十郎
                                                                                                                            下曽根次郎介
                                                                                                                                                                                                                             天野清右衛門
                                                                                                                                                                                                                                                                      竹中主殿
                                                                                                                                                                                                                                                                                                               本多隼人
                            仁保兵四郎
                                          河野弥右衛門
                                                                                    大井長兵衛
                                                                                                                                                                                                  小笠原主水
                                                                                                 七日晴北風
                                                                                                                                                                                                  府中より帰参"付御褒美被下之
               右何も在所、付宿次を以被下之
                                                                                                                             一京都医師山脇道作子道玄工跡式被下候旨戸田越前守へ以飛脚達之
                                                                                                                                                        火之番組頭冨津小兵衛へ引渡有之
                                                                                                                                           内藤若狭守支配朝倉十兵衛跡式無相違惣領十太郎へ被下之
                                                                                                                                                                            時服二ッツ
                                                                                       御鷹之靍被下之
                                                                                 但當年初而被下之
```

御目付支配御臺所番 新左 衞門 ヱ

小高作左衛門組御銭藏番

武左衛門養子

御膳奉行支配御臺所御番

中山新兵衛 遠藤与右衛門

御敖寄屋大工 善右衛門養子

高安彦太郎養子

七左衛門

中山勘兵衛 諏訪部文九郎 岩井善右衛門

片岡七左衛門子

紅葉山御宮役人 道 入 子

宇野七兵衛

高木團跡高木團跡 高野宗清

庄兵衛子

本阿弥権三郎

宇都野作之丞 組傳次郎子小林古大夫 組傳次郎子

明屋敷番 権左衛門養子

鵜飼次郎左衛門

服部新五右衛門

奥方進物取次番 五郎左衛門子

豊田半左衛門

源藏子

本目兵左衛門

境

七郎左衛門

服部宇右衛門服部宇右衛門

三橋源介

富士市十郎

二百五十俵

朝倉十太郎

半兵衛子

松平相模守

松平大隅守

松平加賀守 松平越後守 上枚弾正大弼上使講口孫左衛門を以

**與罵** 1 一色二郎兵衛組御天守番

江藤良元

```
十日暗
                                                                                                                                                                                                                                                                               九 日 晴北西風
                                                                                                                                                                                                                                                                                                     右登
                                                                                                                                                       右腹中氣登 城無之
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            八日晴
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 右跡目被 仰付之
                                                                                                 右御暇 付被下之
                                                                                                                                  夜 入舞被 仰付候
                                                                                                                                             細川越中守より八代蜜柑十箱重"献上之
                                                                                                                                                                                                                                                                                                    城是昨日父国元『宿継を以靏拝領之御礼也
                                                                                                         (

銀三十枚

弥二郎
                                       馬被下之
悪変下之
                                                                                                                       伏見常盤
                                                                                                                                                                                                                                  鳫被下之
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              即刻為御礼登 城
                                                                                                                                                                                                                                                             靍拝領之 即刻為御礼登 城
                                                                                                                    同伊右衛門
                                                                                                                           幸若弥二郎
                                                                                                     奥(拾枚
                                                                                                             銀弐十枚
                                                                                                                                                                                                                                                         同 奥田八郎右衛門
松平伯耆守
                                                                                                      伊右衛門 時服ニッッ
(三十郎
次兵衛
     同
                司
                           司
                                     [7]
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                松平紀伊守上使高木忠右衛門
                                    松平薩摩守
                                                                       上使保田甚兵衛
                                                                                                                                                                                                                                                     上使櫻井庄之助
                    | 毛利甲斐守|| 織田内記
                                                                                                                                                                            <sup>溝口孫左衛門</sup>
松平三河守
          立花飛騨守
     保田甚兵衛
                                                                                                                                                                                                                                          | 松平左京大夫
                                                                                                                                                                                                         櫻井庄之介
                                                                                                                                                                                                                               同人
                                                                                                                                                                                                                        松平刑部大輔
                                                                                                                                                                                                                                    松平摂津守
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                松平伯耆守
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          松平薩摩守
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     松平三河守
松平信濃守
                                                                                                                                                                  酒井雅楽頭
                                                                                                                                                                                                             松平播磨守
                                                                                                                                       九日二出
                                                                                                                                                                                                  御役替被 仰付之
                                                                                                                                       夜前於 御座之間舞被
                                                                                                                 舞々之族御暇被下之
                                                                                                                                                                                                             右子供照相違被下之
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                願之通隠居被
     十一日 晴申ゟ雨
                                                                                                                            郎同伊右衛門
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                          右就在国宿継を以被下之
                                                                                                                                                                                                                                                                               右両人子供取来御切米は隠居料被下之
                                                           一隐居家督
                                                                                         同弐十枚
                                                                                                    (銀三十枚
                                                                       同断
                                                                                  同断
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      御鷹之靍
                                                       大久保右京亮組元添番
                          同 弥右衛門 医邻伊左衛門
                                                                                                                                                                                                                                                                                                               仰付跡式惣領"被下之
                                           同 角太夫村山角左衛門
                                                                                                                                                                        御勘定方
                                                                                                                                                                                    闕所奉行
                                                                                                                                       仰付之伏見常盤幸若弥太
                                                                                                                                                   御徒押
                                                                                                                                                                                                                                                              大久保山城守組禄右衞門弟養子 別 所孫四郎
                                                                                                                                                                                             松平内藏介組与頭
                                                                                                                                                                                                                               医師
                                                                                                                                                                                                                                                                                         P羅上野介組 稲垣三左衛門
                                                                                                                                                                                                                                                                                                     中根大隅守組 高木三左衛門
                                                                                                                                                                                                                                          同組元御代官平
                                                                                                                                                                                                                                                     板倉市正組元御納戸仁左衛門子
                                                                                                                                                                                                                               卜養子
                                                                                                                                                                                                                                                                                                清右衛門子
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      司
                                                                                                                                                                                                                                                                                                           喜左衛門工
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           松平大蔵大輔
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                酒井左衛門尉 松平若狭守
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  典田八郎右衛門 森 伯耆守
                                          同 伊右衛門山岡市郎左衛門
                           同 八郎右衛門山田五郎左衛門
                                                                                                                                                                                                                                   窪田長五郎
                                                                      同
                                                                                 同
                                                                                            同
                                                                                                                                                  柴田太郎右衛門
                                                                                                                                                                                                                         半井卜仙
                                                                                                                                                                                                                                              余語三之丞
                                                                                                                                                                                                                                                         小俣次郎左衛門
                                                                                                      幸若弥太郎
                                                                                                                                                             長滝勘兵衛
                                                                                                                                                                       窪田長五郎
                                                                                                                                                                                   清水三郎右衛門
                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                      松平新太郎
                                                          三十郎
                                                                                次郎右衛門
                                                                                            伊右衛門
                                                                      次郎兵衛
```

右登

城是昨日父新太郎『宿継を以靏被下候御禮

以

上使御鷹之鳫一ッッ被下之

同 大関聯右衛門 小笠原内匠頭

内藤左京亮

本多兵部少輔

戸田左門

同 櫻井庄之

同

十三日

右

松平伊豫守

如例年御煤拂在之酒井河内守勤之

御両殿登 以 十二日 御願之通拝借不叶"付 上使御鷹之鳫一ッッ被下之 一評定所式日寄合美濃守出座 勝手不如意"付 — 一中山茂兵衛御加恩領知御書付被下之 ( 金壱枚 御暇 銀五枚ッツ被下之 被下之召連候同心両人へも 城也 `米五万俵宛被為進之右御礼 世界 一般平主殿頭 一般平主殿頭 大坂役人 松平丹波守局籍兼清左衛門 同 同同人 同 石尾七兵衛 松平日向守 同 大関勘右衛門 同同人 上使奥田八郎右衛門 同 渡辺久助 <sup>溝口孫左衞門</sup> 松平市正 設楽市左衛門 井伊伯耆守 甲府中将殿 舘林宰相殿 石野三右衛門 本多飛騨守 植村右衛門佐 松平周防守 本多出雲守

			太田原隼人	la l	
			芦野民部	同参上	
入岩舩検校齋藤検校平家被 仰付之	一於御座間夜 入岩舩		/ 福原内匠	间	
齋藤又右衛門	(i)	無事	/ 堀 飛騨守	同	
浅井次郎右衛門	(同二	十八日	西郷若狭守	THE STATE OF THE S	
松下善右衛門	上同断		安藤對馬守	[1]	
久代左衛門	(同十枚	一御参済"付御一門方より如例使者差上らる	/ 阿部對馬守	箱肴 参府 半年代	
山口治部左衛門	時服三羽織	一還御後館林殿参詣	岡部源太左衛門	銀馬代 御礼 加思之	
州検地相勤候"付被下之	一 青山大膳亮家来共摂州	一水戸宰相殿尾張中将殿 御對顏	甲府中将殿家為附於彼地	甲府殿へ被	
鈴木新三郎工		御留守 松平因幡守	朽木伊豫守	(銀馬代 御礼 都天百筋 参府之	
<sup>猪兵衛子</sup> 大久保甚右衛門		御先達 酒井河内守	脇坂主殿	(銀馬代 御礼 惣領成	
神保彦次郎		<b>\</b> 加賀守	∄堀	同断	
曾根五郎兵衛娘		但馬守	/ 板倉伊豫守	同断	
安藤頼母江		<sup>身影</sup> / 美濃守	\ 遠山和泉守	同断	
<sup>次那右衛門子</sup> 松平内匠頭娘		一个内藤若狭守	/ 伊東信濃守	II	
岡野孫市		石川美作守	<b>〜</b> 細川玄蕃	同弐御礼	
<sup>蘇九郎子</sup> 大岡弥右衛門娘		御供 / 土井能登守	/ 本多兵部少輔	時服四 婚姻相済候	
神尾伊右衛門江		御沓 堀 山城守	同御簾中		
市左衛門子嶋田越中守娘		商井河内守 御刀 米津周防守	M	(量12%(Act每) 両吸(放补炮卸手)的 金馬代 相済御礼 婦二百 把 婚姻	
馬場源七郎ェ		辰后刻紅葉山 御社参也	水戸宰相殿		
三郎左衛門子神尾若狭守娘		十七日暗	之	例月之諸大名出仕御礼在之	如
国領七郎右衛門 半兵衛子 里伯才希月				十五日	+
天野左左靳門良		之御暇			
津田長五郎江		原二被遣之 城 尾張殿使者 有馬中務少輔	同兵吉郎 鱼壳枚 榎並勘左衛門	#拾枚ッツ 國友善右衛門	
芝田和泉守娘				一鉄炮張御暇被下之	
酒井主税江			也	登 城是 昨日上使之御禮:	右
稲葉清左衛門娘		一曆師立雪御暇時服一被下之	同少将殿		
小濱杢之助		一八幡閼伽井坊使僧御暇時服一被下之東方之画図	水戸殿		
織田主計頭娘		是御用被 仰付相済"付"也		四日暗	+
五嶋飛騨守江		一 時服二 狩野春雪			
故本多飛騨守妹		一中嶋与五郎三州より参上箱肴を以御礼申上候	作右衛門母儀死去	世大和守姉之差合是酒井作右衛	久
同 遠江守江		右寒中伺御機嫌	御簾中江	綿二百把	
南部信濃守娘		柳目見小笠原惣左衛門	) 拜陵 同少将殿	時服二十白銀百枚	
森万右衛門工		御礼 昆最爱皮者 薛田八郎左衛門 従駿府帰 薛田八郎左衛門	水戸殿	二荷三種	
毛利甲斐守娘		<sup>第者 参府</sup> 馬場三郎左衛門	420	右昨夜御婚礼相済『付被進物	右
	縁組被 仰付之	<sup>第4</sup> 設楽孫兵衛	水戸少将殿		
	十九日 暗北風	小刀。神神机	真田伊賀守江上使護辺久助を以	被下之御鷹之鳫一	

岡野孫市 大岡弥右衛門娘

国領七郎右衛門<sup>平兵衛子</sup> 天野佐左衛門娘

酒井主税<sup>江</sup> 酒井主税<sup>江</sup>

神保彦次郎 曽根五郎兵衛娘

鈴木新三郎<sup>江</sup> 安本新三郎<sup>江</sup>

辰后刻 廿日晴

紅葉山江

御参詣也

豫念

滝川相模守 酒井壱岐守

加賀守 美濃守

御供 御沓 御先達 酒井河内守

御
座
之
間

右進上之御礼有之則於御座之間御盃頂戴之御腰物相 金馬代 真御太刀了戒代金二枚五両 綿弐百把 甲府中将殿

州行光代金五拾枚拝領之

御黒書院 出御

叙従四位下改淡路守綱矩御礼黄金三拾枚時服十 進上之則御盃頂戴之帰座之時御腰物左安吉代金三 右元服被 仰付於 御前松平御称号御一字被下之 蜂須賀熊太郎

拾枚拝領之

御目見 

右は以宿継靍被遣御礼也

同三枚 黄金弐枚 継目之御礼 本多右衛門 大沢右京大夫

進上之 代金七枚五両 田俊 二字 同断 同断 同弐枚 近藤平三郎 遠山七之丞 竹中主殿

在番之組頭之內一人可差遣之由以宿次達之

右於因州去、八日死去之由也」注進依之死骸檢使として大坂

右忌御免明日ゟ登

城可有之旨被

仰付候

久世大和守

大久保和泉守

御留守

松平因幡守

内藤若狭守

堀田備中守 土井能登守

石川美作守

御先江

御一門方始諸大名より如例年歳暮之御祝儀時服献上之

廿二日晴

右前髮被取候一付被下物即刻御礼至

順性院殿工

時服二十被遣之

甲府中将殿 上使土屋但馬守を以

時服五

廿一日 晴北風

御参詣済 付御一門方より如例使者差上らる

還御後甲府舘林両殿被参詣

紀伊中納言殿水戸宰相殿尾張中将殿陪従

於評定所式日寄合在之大久保加賀守出座

三被下之 時服

廿三日晴

靍被下之 酒井雅楽頭

右病後初"登 城於 御前被下之

同 同三

銀拾枚ッッ 本因坊 算哲 宗看 銀十枚ッツ門入 算智

一二諦坊へ時服二古筆見了祐≒同御暇 "付被下之 宗桂 智哲 春智 道悦

辰后刻 紅葉山

御参詣

御刀

御先立

御供 御沓

土井能登守 稲垣市正 朽木和泉守 酒井河内守 廿四日

日光御門跡依御病氣日光山江信解院相越候付五人馬之

御朱印被下之

時服二 自分之御礼 同

野本右近

御鷹之

碁将棊之族御暇如例被下物有之

宗与

三上源右衛門

後藤弥次兵衛 日下部作左衛門 松平一学 鈴木四郎左衛門 藤枝丹波守 岡野美作守 岡部源太左衛門 戸田伊勢守

奏者番五人

紀中納言殿 尾中将殿 水少将殿 陪従

石川美作守

内藤若狭守

松平因幡守 堀田備中守

增上寺方丈拝迎

大沢兵部大輔

両所より御菓子御茶献上之

還御後舘林殿参詣

美濃守但馬守加賀守与参

御参詣相済"付御一門方より如例使者上之

/ 傳通院 増上寺

右歳暮之御祝儀登 城謁老中

廿五日晴

右参勤"付登 城所替御礼 演松之城拝領 **黄金五枚進上之** 

青山因幡守

於 御前老中不残御鷹之鳫被下之

御鷹之鳫二被下之 宿継を以

田越前守

如例年於御座之間御鷹之鳫二 被下之

稻葉美濃守 久世大和守 土屋但馬守 大久保加賀守

節分御祝之御膳酒井河内守役之

廿六日 晴北風

於 御前如例被下物

小袖四

酒井雅楽頭

稲葉美濃守

同三

####################################	一松平岐前守内室より以使者微暮之神祝義小仙三 一松平岐前守内室より以使者微暮之神祝義小仙三 一松平岐前守内室より以使者微暮之神祝義小仙三 一松平岐前守 十二 一松平岐前守 十二 一松平岐前守 十二 一松平岐前守 十二 一松平岐前守 十二 一松平岐前守 十二 本多長門守 十二 本多長門守 十二 本多長門守 十二 本の長門守 十二 本の長門守 十二	一 於御表鳫壱 » , 拝領之所謁 堀田備中守 堀田備中守	
一 御褒美被下候面々  一 御褒美被下候面々  一 御褒美被下候面々  一 小嶋新兵衛  「大嶋佐治右衛門  「大嶋佐治右衛門  「大嶋佐治右衛門  「大崎佐治右衛門  「大崎佐治右衛門  「大崎佐治右衛門  「大崎佐治右衛門	加		「
日本武兵衛    日本武兵衛衛    日本武兵衛衛衛衛衛    日本武兵衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛衛	(金玉枚) (金玉枚) (金玉枚) (金玉枚) (山高字右衛門 (本玉枚) (本玉枚) (中坊長兵衛 (中坊長兵衛 (神谷長五郎) (本井治左衛門) (本井治左衛門) (本井治左衛門) (本井治左衛門) (本井治左衛門) (本井治左衛門) (本井治左衛門) (本土 (本) (本) (本) (本土 (本)	金美枚ッッ   坪内杢助   一八噸久左律門   機山甚右衛門	( ph R = 1 と 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2 2

	倫 昌敦 参上御礼申上例	此外 仍着 昌純 昌
布衣"成 松平仁右衛門五		Ė
御書院番組 加藤派左衛門 四	卸目見也	右始数多卸礼其外呉服師共
御小姓組与頭	里村昌隆	東本
今村彦兵衛 ☆   「FIB奉行	連歌師共平岡次郎右衛門	一種差上
/ 石川又四郎 三	下宫 甚 手衛	箱肴
常井奉行 隐岐守	有字動主新	
水野縫殿 +=	日吉大膳	巻数 御礼也
三流文者		東 本  彦山座主
	観理院	御札守御礼
・	山王列當	右宿継を以靍拝領之御礼
a 体質など 出羽守 出羽守 出羽守 出羽守 おからない おからない はいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かいかい かい	小川庄左衛門	一種御目見
- 対称東太子衛門 + 二甲府殿家老 - 作 - で		右水戸少将殿祝言相済"付
精中子 水野数馬 + z	松田庄大夫	御目見
御小姓 民部少	尾張殿使者霊仙寺	一本御礼
朽木帯刀 丸 東豫守子	豊前彦山座為(日太記は座主)	代
越中守せ、	土屋 伊豫寺	箱着御礼
石見守養子	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	
豊前守大野籍部	佐竹壱岐守	同
右衛大夫子(自次配右衛門大夫) 右衛大夫子(自次配右衛門大夫)	相馬出羽守	時服四 御礼 祝言相済
土井式部へ		如例月諸大名御礼有之
		廿八日 晴北風
大村主膳四城守子		
安藝守家訪右京三		金弐十両 細阿弥
因輔守子 出羽守		金三十両 珎阿弥
植村万之介 五右衛門大夫子	御小納戸衆	同 ニッッ 御小姓衆
	朽木和泉守	米津周防守
	酒井壱岐守 内藤上野介	同断大森信濃守
雅楽頭次男 雅楽頭次男	内藤若狭守	石川美作守
式部少"成鳴津又吉 一	堀田備中守 松平因幡守	時服三ッッ 土井能登守
一 諸大夫被 仰付面々		如例年被下
右奥州より帰謁		右如例年被下之
門奈助右衛門 秋山六左衛門	御小納戸衆	
右御礼	御小姓衆	E III
伊阿弥	御側衆	- T
幸阿弥	若年寄	

於御前

都合弐万五千石"成都合弐万五千石"版

堀田備中守

以上

一安部治兵衛高木惣十郎御加増二百俵 >>> 被下布衣被 仰付之

一尾張中納言殿使者松田庄太夫御暇時服二被下之 一松平加賀守使者小川庄右衛門御暇時服三被下之

為歳暮之御祝儀御連枝方登 城謁老中

廿九日晴

御小姓御小納戸御褒美

時服弐

/ 渡辺安藝守

御小納戸 人 小出下野守

松井傳左衛門

大久保兵九郎 、嶋田市兵衛

同三枚ッツ

大久保一郎右衛門

同二枚ッツ

甲斐庄喜左衛門

牧 七左衛門

時ふく三

柳生對馬守

呉服師 後藤庄三郎

同

伏見勘七郎 =

安部治兵衛

高木惣十郎 野一色頼母